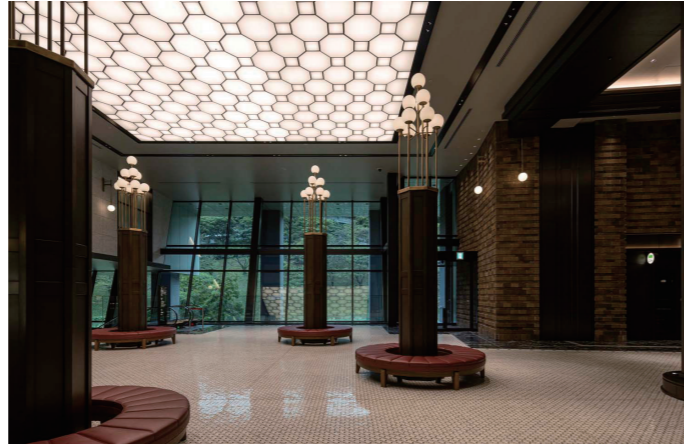


九段会館テラス



外観

「九段会館テラス」は 2022(令和4)年、登録有形文化財建造物「旧九段会館」をL字状に保存しながら新築部と融合して誕生。名称には、北の丸公園を借景にするテラスと旧九段会館を再度“照らす”という思いを込めた。



1F プラザホール

保存部分と新築部分の境目になるプラザホールの吹き抜け空間。保存されたスクラッチタイルが重厚感を湛えている。また、お濠側は全面ガラスカーテンウォールになっており、緑豊かな景色が楽しめる。



B1F テラスラウンジ

B1Fのテラスラウンジには、シェアオフィスである「ビジネスエアポート九段下」のシェアワークスペースや、一般のお客様も使用可能な「九段食堂」を併設している。



B1F テラスラウンジ

「ビジネスエアポート九段下」のシェアワークスペースであるビジネスラウンジ。お濠が一望できるガラスカーテンウォールになっており、開放感ある明るさが確保されている。さらに、個室も完備している。



B1F トイレ入口

ラウンジやクリニックモールのあるB1Fトイレには、両端に男女トイレを配し、さらに中央に個室完結型のオールジェンダートイレを2ヶ所と車いす使用者やオストメイトに配慮したバリアフリースイートを設置している。



B1F オールジェンダートイレ

洗面コーナーを備えた、個室完結型のオールジェンダートイレ。ドアにスリットガラスを入れ、人の気配がわかるよう配慮。温かみのあるシルバー色を用いた空間は、窮屈さを感じさせない雰囲気がある。



B1F 女性トイレ洗面コーナー

アクセントのブラケット照明やデザイン性の高いタイルは、文化財の雰囲気をも大切に選定。深さのあるハーフベッセル洗面器には、手をかざして湯水切り替えから水の出し止めが可能。自動水栓を採用している。



B1F 女性トイレ大便器ブース

フラッシュバルブ式同様の連続洗浄ができる、壁掛大便器ユニット・フラッシュタンク式を採用。1ヶ所のブースのみ手すりを設置している。



B1F 男性トイレ洗面コーナー

女性の洗面空間とカラーの統一はありつつも、趣の異なるデザインがあしらわれた洗面コーナー。個別仕様の鏡を採用し、照明も女性よりシックなものを選定している。



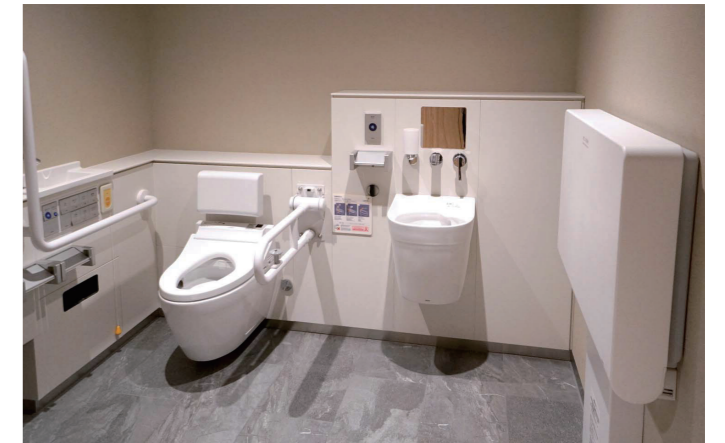
B1F 男性トイレ小便器コーナー

洗面コーナーに用いたヘリンボーン柄のタイルを小便器コーナーの壁にも採用しデザインの統一を図っている。また、荷物配慮として、小便器の間にフックを設置している。



B1F 男性トイレ大便器ブース

女性同様、壁掛大便器ユニット・フラッシュタンク式を設置。洗浄ボタンとウォッシュレットボタンには、ボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを選定している。



B1F バリアフリースイート

さまざまな使用者に配慮して、汚物流しやベビーシートを備えた、バリアフリーユニットを設置している。

九段会館テラス



B1F 礼拝室・リフレッシュルーム

入居企業のダイバーシティ経営を支援すると同時に、コンセプトであるワーカーの健康推進に沿って、「心の健康」にも対応した設備が整えられている。



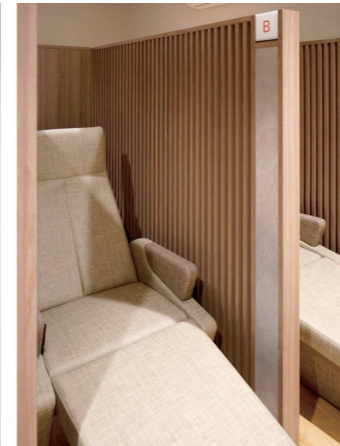
B1F 礼拝室



ムスリムなど礼拝を必要とする方のために、男性用・女性用に分けて礼拝室を設置。ウドゥ(身体の一部を水で洗い清める行為)のための洗い場やメッカの方角を示すギブラを掲示し、礼拝用のマットも用意されている。



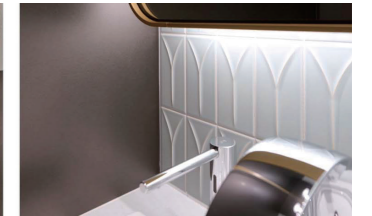
B1F リフレッシュルーム



足を伸ばしてくつろぐことができるリクライニングの椅子が用意されたリフレッシュルーム。圧迫感のない格子状の仕切りで区切られた各空間は、使用状況がわかりやすいようランプで知らせる仕組みとなっている。



2F 女性トイレ洗面コーナー

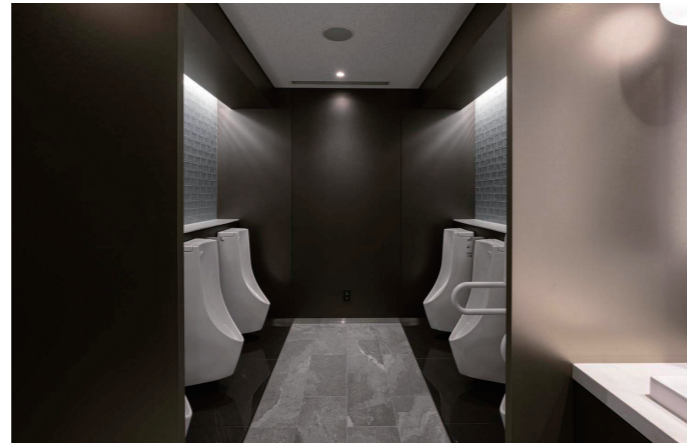


宴会場なども入る2Fトイレ。淡いブルーグレー色のタイルと真鍮の枠を配した鏡が調和する美しい空間。水栓は空間のデザインにあわせて吐水の姿も美しい円形状の自動水栓とオートソープディスペンサーを採用。



2F 男性トイレ 全体

男性トイレには、淡い水色のタイルを採用。鏡は個別鏡となっており、鏡の間接照明が効果的に壁面を照らしている。

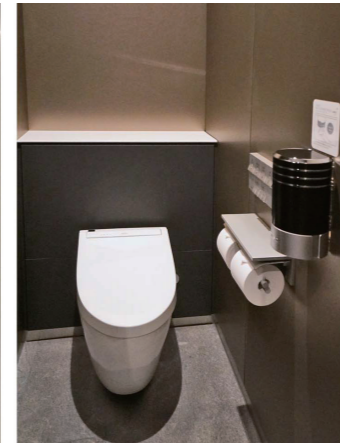


2F 男性トイレ小便器コーナー

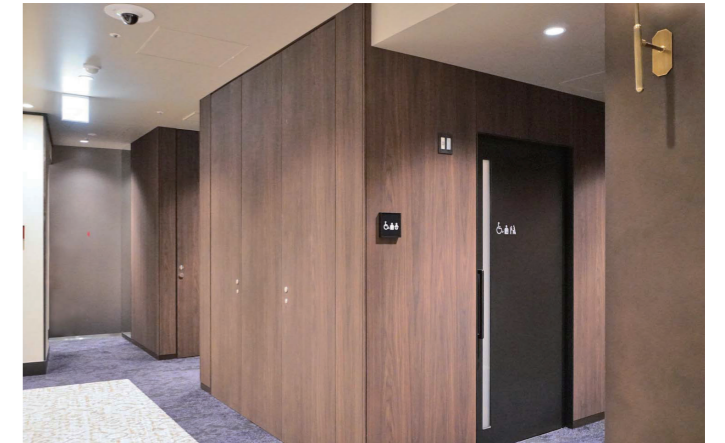
奥まった場所に向かいあわせて設置された小便器コーナー。シンプルなデザインと節水機能を両立した、壁掛型の小便器ユニットを設置している。



2F 男性トイレ大便器ブース



大便器ブースの壁を天井まで立ち上げ、個室感を高めている。また、ブース扉は、空室時30度の角度で止まり、内部が見えにくく、空き状況をひと目で確認できるよう配慮されている。



2F バリアフリートイレ入口

男女トイレから少し離れた位置に入口を設けたバリアフリートイレ。少し奥まった場所のため、さまざまな利用者が入りやすく、さらに入口前で車いすの回転を安心して行うことができる。



2F バリアフリートイレ

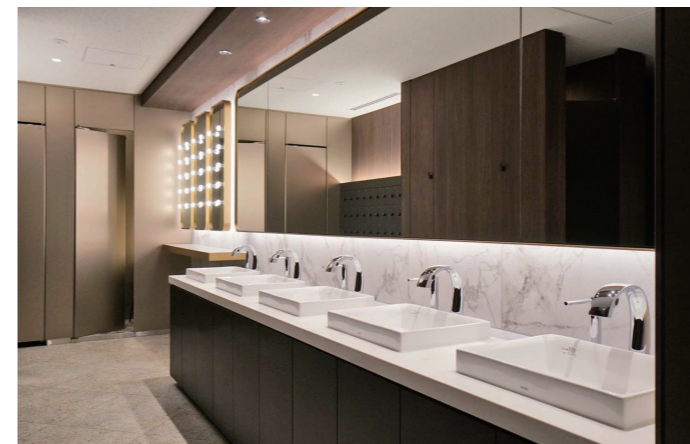
バリアフリーユニットを採用。汚物流しやベビーチェアを設置し、さまざまな使用者に配慮している。



基準階オフィス 16F トイレ入口



重厚感のある、基準階オフィスのトイレ入口。手前と奥にサインを表示することで、利用者へのわかりやすさに配慮している。



基準階オフィス 16F 女性トイレ 洗面コーナー

ハーフベッセル洗面器に非接触の自動水栓とオートソープを選定した洗面コーナーは、間接照明により器具が美しく際立っている。奥には、パウダーコーナーおよびフィッティングルームを完備している。



基準階オフィス 16F 女性トイレパウダーコーナー



顔写りがよい鏡に丸い照明を付けた女優ミラーを採用したパウダーコーナー。脇には、調光用のボタンがついている。

九段会館テラス



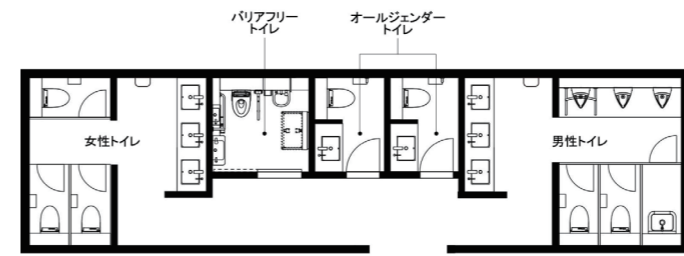
基準階オフィス 16F
女性トイレ
パウダーコーナー

オフィスフロアのトイレという配慮から、パウダーコーナーの向いには、多くの人が使用可能のようにダイヤル鍵付きの小物入れを55個設置。さらに右奥には、フィッティングルームも用意されている。



基準階オフィス 16F
女性トイレ
フィッティングルーム

フィッティングルームには、全身チェックが可能な鏡のほか、椅子とテーブルも併設しており、パウダールームとしても利用可能。鏡の照明は、鏡表面に浮き出るボタンで操作する仕組みとなっている。



B1Fトイレ図面

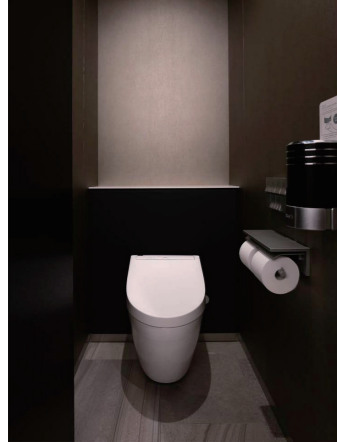
水まわりの特長

建物の特徴

2022(令和4)年10月に開業した「九段会館テラス」は、一部保存・復原した登録有形文化財の旧九段会館と主に最新鋭のオフィスからなる新築棟とを融合させて誕生した。旧九段会館は、1934(昭和9)年に昭和天皇の即位の礼を記念する「昭和御大礼記念事業」の一環で軍人会館として建設され、「帝冠様式」建築を代表する建物。新旧の境目は構造上分かれているが、保存棟の正面玄関から奥に続く新築部分のプラザホールなど、レトロモダンなデザインで一体化しているため、新旧の境目を感じさせない。「九段会館テラス」は、地上17階、地下3階で、宴会場、シェアオフィス、クリニックモール、飲食店、屋上庭園などを備え、一部一般客にも開放しているエリアもある。

トイレの特長

レトロモダンな空間意匠を創出したトイレは、非日常感のある旧九段会館の印象を繋ぎ、「夢から醒めないように」を大切にデザインされた。そのひとつが、織部色と呼ばれる旧九段会館の屋根瓦に使用されている緑に通じるタイルで囲った鏡や、壁に用いたスクラッチタイルを創造させる形のガラスタイル。デザイン性が高く重厚感のあるこだわりの意匠材は、空間のアクセントになっている。基準階オフィスは、女性トイレのパウダーコーナーにこだわり、鏡に照明が設置された女優ミラーを設置。さらに、照明付き鏡と椅子、テーブルを備えたフィッティングルームは、安心して一息つける空間になっている。先進の機能性と細やかな配慮を生かしながら、文化財の雰囲気大切にトイレが実現されている。



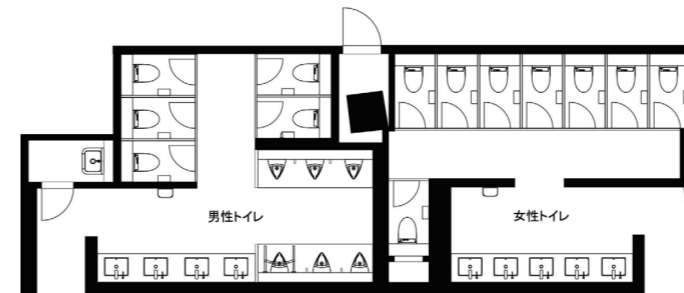
基準階オフィス 16F
女性トイレ
大便器ブース

基準階のオフィストイレも他階と同様に、壁掛大便器ユニット・フラッシュタンク式と、押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリコンを採用している。



基準階オフィス 16F
男性トイレ 洗面コーナー

織部色と呼ばれる旧九段会館の屋根瓦に使用されている緑に通じるタイルで囲った鏡。正面の壁には、保存されたスクラッチタイルを想起させる模様のタイルを施している。



2Fトイレ図面

建築概要

名称	九段会館テラス
所在地	東京都千代田区九段南1-6-5
事業主	合同会社ノーヴェグランデ (東急不動産、鹿島建設が本プロジェクトのために出資する事業会社)
設計	鹿島・梓 設計・工事監理業務共同企業体
設計協力	インテリアデザイン 株式会社イリア
施工	鹿島建設株式会社
竣工年月	2022年7月
敷地面積	約8,675.00㎡
建築面積	5,123.02㎡
延床面積	68,036.35㎡
構造・階数	鉄骨造(コンクリート充填鋼管構造)、鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造・地下3階、地上17階

おもなTOTO使用機器

- 大便器ユニット:UTNCAA
- ウォシュレットPS(擬音装置「音姫」付きエコリコン):TCF5524A
- 棚付二連紙巻器:YH700AD
- 小便器ユニット:UTNUBN
- 洗面器:LS716
- 台付自動水栓:TLP01S01J
- 自動水石けん供給栓:TLK07S系
- バリアフリーユニット:UTNDAA
- ペビーシート:YKA25S
- ペビーチェア:YKA15S
- フック:YKH52AR



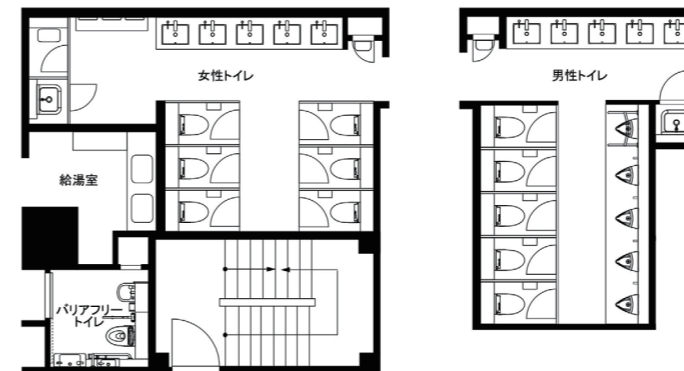
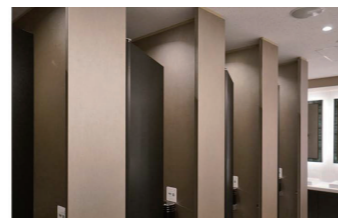
基準階オフィス 16F
男性トイレ
小便器コーナー

洗面同様のスクラッチタイルを想起させる模様のタイルを、小便器コーナーの壁にも設置し、統一感を持たせている。



基準階オフィス 16F
男性トイレ 大便器ブース

清掃性に配慮された壁掛大便器ユニット・フラッシュタンク式を採用。さらに携帯などの小物が置ける棚付二連紙巻器を選定。ブース壁とは違うカラーを扉に用い、デザイン性を高め、空き状況もわかりやすくしている。



16Fトイレ図面